

資料109-3

科学技術・学術審議会

研究計画・評価分科会

宇宙開発利用部会

(第109回) 2026.10.16

直近のトピックスについて

令和8年10月16日

研究開発局 宇宙開発利用課



文部科学省

諏訪理宇宙飛行士のISS長期滞在ミッション (搭乗宇宙船の決定)

すわ まこと 諏訪理宇宙飛行士のISS長期滞在ミッション（搭乗宇宙船の決定）



- JAXAの諏訪理宇宙飛行士は、ISS長期滞在ミッションに向けた準備・訓練を実施しているところ、この度**クルードラゴン宇宙船運用14号機への搭乗**が決定。2026年9月25日に閣文部科学大臣から発表。
- 諏訪宇宙飛行士は、2024年10月に宇宙飛行士として認定。2026年1月にISS長期滞在を行う旨公表済み。今回が初めての宇宙飛行となり、ISSに約半年間滞在予定。

諏訪宇宙飛行士の長期滞在ミッション概要

搭乗機：米クルードラゴン宇宙船運用14号機

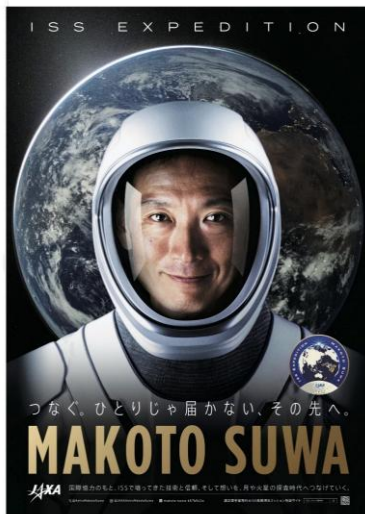
打上げ時期：2027年3月以降

搭乗員（4名）：

- ① Kayla Barron（NASA、コマンダー）
- ② Chris Birch（NASA、パイロット）
- ③ 諏訪理（JAXA、ミッションスペシャリスト）
- ④ Arutyun Kiviryan（ロスコスモス、ミッションスペシャリスト）

主な業務：

「きぼう」日本実験棟を含むISSの各施設の維持・保全、利用ミッション（科学実験等）等



諏訪宇宙飛行士ISS長期滞在ミッションポスター

ミッションキャッチコピー

「つなぐ。ひとりじゃ届かない、その先へ。」

◆諏訪宇宙飛行士の略歴

1977年	東京都生まれ
2007年6月	プリンストン大学大学院地球科学研究科修了
2008年1月	青年海外協力隊にてルワンダ国派遣
2010年11月	国際連合・世界気象機関（WMO）入社
2014年3月	世界銀行 入行
2023年2月	JAXA宇宙飛行士候補者として選抜 （応募総数4,127名の中から米田あゆ飛行士とともに2名選抜）
2023年6月	世界銀行 退社
2023年7月	JAXA入構、宇宙飛行士候補者基礎訓練を開始
2024年10月	基礎訓練終了、宇宙飛行士として認定
2026年1月	国際宇宙ステーションへの長期滞在決定

第77回 国際宇宙会議 (IAC 2026)

第77回 国際宇宙会議 (IAC 2026)

- ◆ 第77回 国際宇宙会議 (IAC 2026) が、2026年10月5日 (月) ~10月9日 (金) に、トルコ・アンタルヤで開催。
- ◆ IAC 2026大会テーマ『The World Needs More Space』の下、宇宙機関、科学者、技術者、宇宙飛行士、企業、起業家、投資家、学生等、過去最大規模の111か国より18,642名が一堂に会し、科学・技術・産業交流を促進。
- ◆ トルコ・エルドアン大統領は、開会式で、宇宙での活動が生活をより安全に持続可能なものとする重要性を強調。トルコの衛星技術から有人宇宙飛行に至る成果を振り返り、月面探査を国の宇宙ビジョンの重要要素として掲げた。
- ◆ 若手研究者・宇宙スタートアップの交流を促進。一般公開日には、11,000人超が来場し宇宙への関心を喚起した。
- ◆ IACに合わせ開催されたアルテミス合意会合では、日本が議論を主導した“月デブリ軽減等に関する推奨事項”が合意された。

